

員は僅か二名であつた、それから本部の齋藤閣下が來福された時支部組織に關して奔走を頼まれてより一ヶ年になる引續いて九月二日二子石中將、二宮、匠邊兩少將が來福、大博劇場で演說會を開催したので次第に大衆から明倫會の趣旨を了解され其後西原閣下其の他の努力にて六百の會員を得今日發會するに至つた次第である。

6、支部長推戴（座長一任）

支部長 陸軍少將 星 村 市 平

7、支部長挨拶

支部長 星 村 市 平

一致協力し主義綱領に基き日本精神を發揮し國家の爲に努力する、各位の御援助を願ふ。

8、役員選舉（支部長一任）

副支部長 陸軍少將 西 原 矩 彦

○坂本隆次より緊急動議にて副支部長二名を可決
副支部長一名其他の役員は後日發表のこと。

9、明倫會宣言朗讀

西 原 矩 彦

10、支部宣言朗讀

牧 瀬 太 郎

別紙の通

11、明倫會主義綱領朗讀

西 原 矩 彦

12、支部決議朗讀

中 田 比 良 夫

別紙の通

13、來賓祝辭

○田中總裁祝辭 陸軍中將代讀 吳 平 俊 藏

別紙の通

○明倫會門司支部長 水 島 敬 三 郎

○明倫會八幡支部長 代讀 國 部 從 容